

住み良い二本松市のための予算を可決

予算審査特別委員会で新年度予算案を審査

今後10年間の市政運営の基本となる新しい「総合計画」に基づく令和3年度予算を審査しました。予算の決め方や使われ方について、当局への質問と委員間での議論が行われました。審査の一部を紹介します。

※議案第19号令和3年度一般会計予算において、安達ヶ原ふるさと村の道の駅登録に向けた計画策定委託料は、事業の進め方や予算・提案の在り方に問題がある。またコロナ禍などの状況を踏まえ、芝生広場整備事業等は慎重に対応すべきとの議論があり、予算審査特別委員会では賛成少数により否決すべきものと決しました。

芝生広場整備事業

意見 コロナ禍、令和元年台風19号、先日の福島県沖地震の被害の復旧も完了していない状況でもあることから、市民生活の安定を見てからの実施にしてほしい。
意見 事業費の圧縮、ランニングコストが最小限で済むように精査してほしい。

安達ヶ原ふるさと村運営事業

意見 基本計画を策定し、内容を示してから実施設計を進めるべきである。
意見 概算額も提示できない状況であり、基本計画と実施設計を同時に進めるのは拙速に過ぎるため、計画策定業務委託料については、減額または削除すべきである。

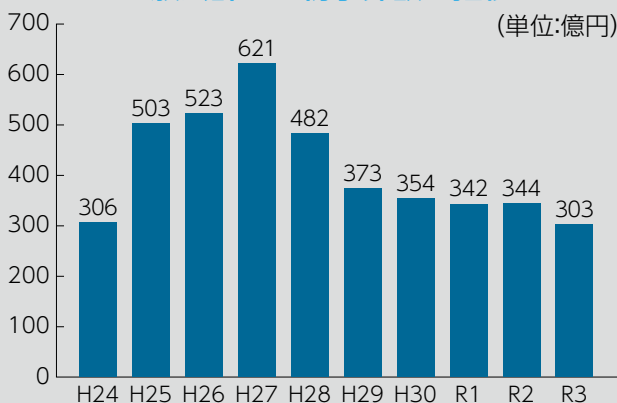
放射能除染事業

問 道の駅に向けた整備の概算額は。また、通常は基本計画を策定後、実施設計を進めるものと思いが、なぜ同時に進めるのか。
答 概算額については、今後進める基本計画の中で積算していきたくと考えている。また、期間の短縮と費用の抑制を図るため、基本計画と実施設計を併せて進めたい。

広報公聴事務

問 SNSアプリを使って行う事業の内容は。
答 火災や緊急情報のメール配信サービス、行政情報のチャットボットによる自動応答提供、市民からの道路や公共施設の被害などを写真と位置情報とともに通報機能の3点を計画している。

一般会計の当初予算額の推移



予算規模

会計区分	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較
一般会計	30,314,199	34,443,597	▲4,129,398 (▲12.0%)
特別会計	12,350,073	12,215,590	134,483 (1.1%)
企業会計	5,921,512	4,962,497	959,015 (19.3%)



長寿命化改修工事を行う二本松南小学校

後日、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響等を考慮し、予算内容の一部見直しを行うために議案第19号の撤回の申し出があり、本会議で承認されました。

その後、追加議案として、安達ヶ原ふるさと村運営事業及び芝生広場整備事業に係る予算の見直しを行った、令和3年度一般会計予算が提案されました。

学校施設整備事業

問 二本松南小学校長寿命化改修工事及び仮設校舎賃貸借業務について、3か年にわたる事業のスケジュールは。

答 令和3年度は仮設校舎の建設に向けての設計及び準備を進め、約4か月程度で完成することから、3学期から仮設校舎を利用しての学習となる。令和4年度は1年間全て仮設校舎での学習。令和5年度は1学期までの間には校舎の長寿命化改修が終了する予定で、子どもたちが仮設校舎で学習する期間は21か月見込んでいる。その後、仮設校舎の取壊しを行う。

生活保護適正実施推進事業

問 国からの新たな補助金により、生活保護者健康管理支援業務委託料やシステム料等が増えているが、その内容は。

答 生活保護受給者に係る健診やレセプトデータを拾い上げ、医療扶助の分析を行い、現状や課題を明確化し、生活習慣病の予防・改善につながる保健指導を実施することで、医療扶助の適正化及び生活保護受給者の健康状態の維持・改善を目指すものである。

空家等対策事業

問 不良住宅等除却費補助金について、1件当たり上限50万円で3棟分の予算を見ているが、空き家そのものは市内で何件把握しているのか。また、今後の進め方は。

答 2月末現在で854件把握している。空き家所有者には、アンケートと併せて補助事業についても周知しており、数十件の方が興味を持たれ、補助希望や解体意向を示された。空き家所有者の意識もだいが変わってきており、今後積極的にPRを進め、物件の適正管理に努めていきたい。

DMO推進事業

問 職員を昨年の3名から4名体制にする理由と、予算の差額はどのくらいになるのか。

答 DMOは、これから二本松市の観光における中心的な組織として活動していく中で、事業内容についても精度を上げるため、職員を増やしてさらに観光推進していきたい。現在、職員は3名体制であるが、事務局長分は他民間事業者からの受入れのため、DMOから給与は支払っておらず、実質の人員費は2名分である。人員費の差額は2名分で、779万3,000円の増額となっている。

令和3年度一般会計 当初予算 303億1,419万円

